



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社夢真ビーネックスグループ 上場取引所 東
 コード番号 2154 URL <https://www.yumeshin-benext.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西田 穰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐藤 博 TEL 03-6672-4181
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	59,453	△5.0	3,409	△18.5	4,426	6.9	2,872	171.6
2020年6月期第3四半期	62,605	1.9	4,183	△5.6	4,142	△5.5	1,057	△63.5

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 2,870百万円 (170.7%) 2020年6月期第3四半期 1,060百万円 (△60.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	66.96	66.72
2020年6月期第3四半期	24.86	24.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	31,124	15,917	50.9
2020年6月期	31,730	14,765	46.2

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 15,840百万円 2020年6月期 14,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2021年6月期	—	17.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	27.00	44.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2021年6月期期末配当金の内訳は普通配当25円00銭、記念配当2円00銭(吸収合併記念配当)です。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,800	16.0	3,200	△31.4	4,400	△7.8	2,700	102.2	29.30

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. (株) 夢真ホールディングスとの統合の影響は、現時点で予見可能な部分について織り込んでいます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	42,934,100株	2020年6月期	42,851,700株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	1,569株	2020年6月期	1,569株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	42,895,430株	2020年6月期3Q	42,551,865株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年5月14日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	11
 (ご参考) 上場廃止会社 (株式会社夢真ホールディングス) にかかわる決算開示について	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は59,453百万円（前年同期比5.0%減）となりました。技術系領域の売上高は微減に留まり、海外領域においても減収となったものの、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響から回復傾向が表れつつあります。一方、利益面では、特に技術系領域において第1四半期連結累計期間の稼働率低迷の影響が大きく、営業利益は3,409百万円（前年同期比18.5%減）となりましたが、雇用調整助成金等の受給により営業外収益が増加したため、経常利益は4,426百万円（前年同期比6.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,872百万円（前年同期比171.6%増）となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりです。なお、セグメント別の売上高は外部顧客への売上高を適用しております。

また、前連結会計年度に実施した持株会社体制への移行にともない、当社はグループ経営管理を行う持株会社となったことから、当連結会計年度より当社の業績を、全社費用に含めております。

[技術系領域]（顧客企業の研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託事業）

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、残業時間、稼働日数、単価がそれぞれ微減しました。一方、稼働率については、前期末の低迷からの回復に努め、適正な水準となりました。この結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は32,500百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は3,966百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

[製造系領域]（顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業）

当第3四半期連結累計期間においては、派遣事業では、一部の業種で増産の動きもみられ、当第3四半期連結累計期間の後半においては、稼働社員数は増加となりましたが、期初の稼働数低迷の影響が残りました。請負事業においては、受注量に対する原価の最適化に取り組み、受注量も回復傾向となったことが貢献し、収益性が改善しました。この結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は6,294百万円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益は364百万円（前年同期比42.9%増）となりました。

[海外領域]（日本国外における技術・製造分野に対する派遣・請負や、有料職業紹介などの人材サービス事業）

当第3四半期連結累計期間においては、英国で期初にロックダウンの強い影響を受けましたが、期末にかけて売上高が回復傾向となり、減収幅は縮小しました。一方利益については、前連結会計年度にのれん減損損失を計上したため、当第3四半期連結累計期間ののれん償却額が減少し、また固定費削減等を進めたものの、売上高の減少、中でも利益貢献が大きい紹介事業の低迷を補うには至りませんでした。この結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は20,656百万円（前年同期比9.1%減）、セグメント利益は61百万円（前年同期比74.5%減）となりました。

[その他]

報告セグメントに含まれない領域として、特例子会社（株式会社ビーネックスウィズ）における障がい者雇用を推進しており、主にグループ間でのフラワーアレンジメント制作物の納品や梱包軽作業などを行っております。グループの社員数の増加に応じて雇用を強化し、業務の拡大に努めておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による社内イベントの自粛に伴い売上高が減少しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、内部取引を含めて122百万円（前年同期比14.1%減）、セグメント損失は226百万円（前年同期はセグメント損失143百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて606百万円減少（1.9%減）し、31,124百万円となりました。主たる変動項目は、配当及び未払費用並びに法人税の支払などによる現金及び預金の減少5,282百万円及び受取手形及び売掛金の増加1,979百万円、流動資産のその他の増加1,503百万円、買収に伴う取得原価の配分等による無形固定資産のその他の増加829百万円、のれんの増加389百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1,757百万円減少(10.4%減)し、15,207百万円となりました。主たる変動項目は、未払費用の減少888百万円、未払法人税等の減少759百万円、短期借入金の減少740百万円、未払金の減少566百万円及び賞与引当金の増加812百万円、退職給付に係る負債の増加566百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,151百万円増加(7.8%増)し、15,917百万円となりました。主たる変動項目は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,872百万円、英国子会社におけるNCIプット・オプションの行使によるNCIプット負債の認識の中止に伴う利益剰余金の計上421百万円及び配当金の支払1,800百万円等による利益剰余金の増加1,489百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の追加取得等による資本剰余金の減少326百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(連結業績予想について)

当社は2021年1月29日付で株式会社夢真ホールディングス(以下「夢真ホールディングス」と)との経営統合を発表し、通期業績予想を一旦「未定」へと変更いたしました。2021年4月1日付で当社が夢真ホールディングスを吸収合併したことで、統合以降の夢真ホールディングスの業績の反映と、新たに発生するのれん及びのれん償却費、経営統合関連費用等が算定可能となりましたことから、通期業績予想を開示いたします。

なお、のれんの算定等企業結合につきましては暫定的な会計処理を行っており、また統合に関する諸費用につきましては概算額を計上しております。今後、当該内容が確定次第、速やかに開示を行う予定であります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	94,800	3,200	4,400	2,700	29.30
増減額(B-A)	94,800	3,200	4,400	2,700	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2020年6月期)	81,755	4,666	4,771	1,335	31.34

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,158	5,875
受取手形及び売掛金	10,089	12,068
その他	1,706	3,209
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	22,952	21,153
固定資産		
有形固定資産	943	984
無形固定資産		
のれん	4,501	4,890
その他	688	1,517
無形固定資産合計	5,189	6,408
投資その他の資産	2,644	2,578
固定資産合計	8,777	9,971
資産合計	31,730	31,124
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,615	1,875
1年内償還予定の社債	196	196
未払金	1,926	1,360
未払費用	4,575	3,687
未払法人税等	1,361	602
未払消費税等	2,651	3,041
賞与引当金	1,420	2,232
その他	767	899
流動負債合計	15,515	13,894
固定負債		
社債	518	322
退職給付に係る負債	71	638
その他	859	351
固定負債合計	1,449	1,312
負債合計	16,964	15,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,372	4,418
資本剰余金	2,768	2,441
利益剰余金	7,693	9,182
自己株式	△1	△1
株主資本合計	14,832	16,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△2
為替換算調整勘定	△182	△197
その他の包括利益累計額合計	△182	△200
新株予約権	1	1
非支配株主持分	114	75
純資産合計	14,765	15,917
負債純資産合計	31,730	31,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	62,605	59,453
売上原価	49,846	48,096
売上総利益	12,759	11,356
販売費及び一般管理費	8,575	7,947
営業利益	4,183	3,409
営業外収益		
受取利息	4	0
助成金収入	43	885
受取補償金	—	105
為替差益	5	77
持分法による投資利益	—	41
その他	20	15
営業外収益合計	73	1,125
営業外費用		
支払利息	91	52
持分法による投資損失	15	—
非支配株主に係る売建プット・オプション負債の 評価損	—	49
その他	7	6
営業外費用合計	114	108
経常利益	4,142	4,426
特別利益		
固定資産売却益	0	—
負ののれん発生益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	1	10
投資有価証券評価損	301	—
減損損失	1,162	—
その他	0	0
特別損失合計	1,465	10
税金等調整前四半期純利益	2,678	4,416
法人税、住民税及び事業税	1,391	1,350
法人税等調整額	126	179
法人税等合計	1,517	1,529
四半期純利益	1,161	2,886
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,057	2,872

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,161	2,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△2
為替換算調整勘定	△60	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	29
その他の包括利益合計	△100	△15
四半期包括利益	1,060	2,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	956	2,854
非支配株主に係る四半期包括利益	103	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社アロートラストシステムズを傘下に持つ株式会社レフトキャピタルの株式を100%取得し、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の収束時期については不確実性を伴うため、先の見通しが困難ではありますが、当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時点において入手可能な情報に基づいて判断した結果、少なくとも当連結会計年度においてはその影響が続くものと仮定して、固定資産の減損の判断及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。当該見積りについて、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。

当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済環境への影響が変化した場合には、上記の見積りと事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,855	7,016	22,732	62,603	1	62,605	—	62,605
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	7	7	141	149	△149	—
計	32,855	7,016	22,740	62,611	142	62,754	△149	62,605
セグメント利益又は 損失(△)	4,301	255	241	4,798	△143	4,655	△471	4,183

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△471百万円には各報告セグメントに配分していない全社費用△477百万円及びセグメント間取引消去6百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の会社運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、株式会社アクシス・クリエイト(2020年6月期において清算完了)、株式会社フェイス(現株式会社アクシス・クリエイト)、株式会社アクシスヒューマンデベロップメントの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「技術系領域」の資産の金額が1,864百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外領域」において投資額の回収が困難となったのれんについて減損損失を計上しております。

当該事象によるのれんの減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,162百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

上記(固定資産に係る重要な減損損失)で記載したとおり、「海外領域」において、のれんを減損しております。

第2四半期連結会計期間において、株式会社アクシス・クリエイト(2020年6月期において清算完了)、株式会社フェイス(現株式会社アクシス・クリエイト)の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、「技術系領域」ののれんの金額が1,355百万円増加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	技術系領域	製造系領域	海外領域	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,500	6,294	20,656	59,451	1	59,453	—	59,453
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3	—	71	75	121	196	△196	—
計	32,504	6,294	20,727	59,527	122	59,649	△196	59,453
セグメント利益又は 損失(△)	3,966	364	61	4,393	△226	4,166	△757	3,409

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、障がい者雇用促進事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△757百万円には各報告セグメントに配分していない全社費用△917百万円及びセグメント間取引消去160百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の会社運営に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、株式会社アロートラストシステムズを傘下に持つ株式会社レフトキャピタルの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「技術系領域」の資産の金額が2,212百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社アロートラストシステムズを傘下に持つ株式会社レフトキャピタルの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、「技術系領域」ののれんが839百万円増加しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社の報告セグメントは、前連結会計年度まで「技術系領域」としておりましたが、持株会社化により最適なグループ・ガバナンスの運営体制が構築されたことに伴い、第1四半期連結会計期間より当社で発生した費用を全社費用として、調整額に含めております。

この変更は、当社が今後グループ全体の戦略策定、経営資源の最適配分、子会社業務管理を中心とした機能を提供することになったためであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社レフトキャピタル (以下「レフトキャピタル」)
事業の内容 システム開発を行う子会社の持株会社

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは「『次』に挑む、機会を創り続ける。」というミッションの下、これまでキャリアエンジニアにとどまらず、エンジニアを志す数多くの若者にエンジニアとして働く機会を提供してきました。なかでも、5GやIoTの浸透により全産業において今後、高水準で人材需要の継続が予想されるITソフト領域の強化に取り組み、当社グループのエンジニアの約4割を占めるまでになりました。

一方、レフトキャピタルの子会社である株式会社アロートラストシステムズは、ITソフト業界で長い歴史をもつシステム開発会社で、高い開発力によりこれまで、通信・金融・流通・製造・旅行・自治体など幅広い業界においてシステムの開発受託を行っており、当社グループは、株式会社アロートラストシステムズの連結子会社化によって、新たな顧客基盤の開拓ができることを期待しております。

(3) 企業結合日

2021年1月6日 (株式取得日)
2021年1月1日 (みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2021年1月1日から2021年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,335百万円
取得原価		1,335百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 40百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

839百万円

なお、のれんは、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

株式会社ビーネックスグループ（以下「当社」）と株式会社夢真ホールディングス（以下「夢真ホールディングス」）は、2021年4月1日を効力発生日とした吸収合併により経営統合（以下「本経営統合」）し、同日付で商号を「株式会社夢真ビーネックスグループ」へ変更いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社夢真ホールディングス

事業の内容 人材派遣事業

(2) 企業結合を行った主な理由

「事業領域の拡大」「採用力・人材育成力等の強化」「財務基盤の強化」を軸に、統合効果の実現を目指してまいります。

①事業領域の拡大

当社と夢真ホールディングスは同じ技術者派遣業界に属しつつも、異なる特色を有しており、主力事業においては顧客の重複がほぼなく、本経営統合を通じ、事業ポートフォリオはバランスよく強化されるものと考えております。

また、今後拡大が予想されるIT領域においては、規模拡大により幅広くまたスピーディーに顧客ニーズに応えることができることとなるなど、今後の業容成長に適した組合せであり、技術者派遣業界でより一層の存在感を示す企業となることができると考えております。

さらに、事業領域の拡大を通じて、社員の皆様の多様なキャリアアップの機会と可能性を提供できる企業となることを目指します。

②採用力・人材育成力等の強化

技術者派遣の業界では経験年数の高いエンジニアの採用、派遣に強みをもつ企業もありますが、当社と夢真ホールディングスはともに未経験者を雇した上でそのキャリアアップの機会を提供することに主眼を置いており、人材採用、教育面でのノウハウに関する親和性も高くなっております。

また、本経営統合により両社の知識・経験を融合し、研修や派遣先企業でのスキル向上を通じた派遣社員の方のスキルアップノウハウを相互に共有することで、更なる人材育成力の強化につなげます。

さらに、採用面でも、本経営統合による企業規模拡大等により採用力の更なる強化を期待することができ、両社のノウハウの共有や人材の拡充等による管理面の更なる強化を通じて社員の皆様により安心して働くことができる職場の提供を目指します。

③財務基盤の強化

本経営統合を通じて企業規模も拡大、信用力向上につながることで財務基盤が強化され、更なる大規模な業界再編にも対応ができる体制構築が可能となります。

(3) 企業結合日

2021年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、夢真ホールディングスを吸収合併消滅会社とする吸収合併

(5) 結合後企業の名称

株式会社夢真ビーネックスグループ

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が株式を交付する企業であることに加えて、相対的な規模の相違の有無等の複数の要素を総合的に勘案した結果、当社を取得企業と決定いたしました。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	企業結合日に交付した当社の普通株式の時価	80,336百万円
取得対価	吸収合併消滅会社の新株予約権者に対して交付した吸収合併存続会社の新株予約権	120百万円
取得原価		80,456百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等	358百万円
-------------------	--------

4. 本合併に係る割当ての内容

(1) 株式の種類別の交換比率

夢真ホールディングスの普通株式1株に対して当社の普通株式0.63株を割当て交付いたしました。

(2) 合併交付金

該当事項はありません。

(3) 本合併により発行する株式の種類及び数

普通株式

47,761,083株

(注) 当社の保有する自己株式1,569株を本合併による株式の割り当てに充当し、残数について新たに普通株式を発行いたしました。

(4) 合併比率の算定方法

本合併比率の公正性を確保するため、各社がそれぞれ別個に独立した第三者算定期間に合併比率の算定を依頼することとし、当社は株式会社SBI証券を、夢真ホールディングスはトラスティーズ・アドバイザー株式会社を選定いたしました。

当社及び夢真ホールディングスは、両社が選定した第三者算定機関から受領した算定結果等を参考に、それぞれ両社の財務状況、業績動向、株価動向等を勘案し、合併比率について真摯に交渉・協議を重ねた結果、最終的に上記の合併比率が妥当であり、それぞれの株主様の利益に資するものであると判断し、合意・決定いたしました。

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

約70,000百万円

なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

（ご参考）上場廃止会社（株式会社夢真ホールディングス）に関わる決算開示について

2021年4月1日に株式会社夢真ホールディングスを吸収合併消滅会社、株式会社ビーネックスグループを吸収合併存続会社とする吸収合併を実施しました。当該吸収合併に伴い上場廃止となった株式会社夢真ホールディングスの2021年9月期第2四半期決算短信（2020年10月1日～2021年3月31日）について、次のとおりお知らせします。

2021年9月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月14日

会社名 株式会社 夢真ホールディングス

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	29,106	△3.8	1,905	△40.7	1,912	△35.4	706	△59.4	789	△54.6	724	△58.3
2020年9月期第2四半期	30,264	—	3,210	—	2,960	—	1,737	—	1,738	—	1,735	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	10.47	10.40
2020年9月期第2四半期	22.92	22.77

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	31,728	10,854	11,057	33.6
2020年9月期	36,399	11,561	11,689	32.1

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	78,866,940株	2020年9月期	78,861,940株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	3,456,706株	2020年9月期	3,454,831株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	75,407,347株	2020年9月期2Q	75,856,804株

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	15,426,037	12,725,841
営業債権及びその他の債権	7,528,457	8,004,049
棚卸資産	62,577	65,207
その他の金融資産	146,981	140,499
その他の流動資産	1,610,942	764,988
流動資産合計	24,774,996	21,700,587
非流動資産		
有形固定資産	2,993,862	2,497,850
のれん	3,428,635	2,519,130
無形資産	1,122,850	1,078,717
投資不動産	224,802	222,344
その他の金融資産	1,790,015	1,651,450
繰延税金資産	2,028,385	2,028,385
その他の非流動資産	35,602	29,995
非流動資産合計	11,624,153	10,027,875
資産合計	36,399,150	31,728,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	566,979	568,199
社債及び借入金	2,674,832	3,383,762
未払法人所得税	2,390,374	1,268,680
その他の金融負債	1,653,394	913,138
引当金	23,758	—
その他の流動負債	9,703,718	6,517,062
流動負債合計	17,013,057	12,650,842
非流動負債		
社債及び借入金	6,050,891	6,729,878
その他の金融負債	1,017,886	742,760
退職給付に係る負債	352,183	355,907
引当金	182,410	170,676
繰延税金負債	216,982	216,982
その他の非流動負債	4,497	7,000
非流動負債合計	7,824,851	8,223,205
負債合計	24,837,908	20,874,048
資本		
資本金	828,751	830,779
資本剰余金	10,803,705	10,798,644
利益剰余金	2,458,544	1,731,891
自己株式	△2,437,646	△2,439,386
その他の資本の構成要素	36,561	135,828
親会社の所有者に帰属する 持分合計	11,689,915	11,057,756
非支配持分	△128,674	△203,342
資本合計	11,561,241	10,854,413
負債及び資本合計	36,399,150	31,728,462

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	30,264,324	29,106,156
売上原価	21,482,759	21,211,874
売上総利益	8,781,565	7,894,282
販売費及び一般管理費	5,265,100	5,509,450
その他の収益	183,538	640,939
その他の費用	489,017	1,120,203
営業利益	3,210,985	1,905,568
金融収益	84,990	99,660
金融費用	335,783	92,387
税引前四半期利益	2,960,192	1,912,840
法人所得税費用	1,222,435	1,206,453
四半期利益	1,737,757	706,387
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,738,561	789,559
非支配持分	△804	△83,172
四半期利益	1,737,757	706,387
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	22.92	10.47
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	22.77	10.40

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益	1,737,757	706,387
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	—	—
項目合計	—	—
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	8,501	13,073
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△10,833	4,652
項目合計	△2,331	17,725
税引後その他の包括利益合計	△2,331	17,725
四半期包括利益	1,735,425	724,112
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,736,805	805,123
非支配持分	△1,379	△81,700
四半期包括利益	1,735,425	724,112

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	新株予約権	確定給付制度の再測定
2019年10月1日残高	822,964	10,777,833	1,562,384	△2,001,463	37,839	—
四半期利益			1,738,561			
その他の包括利益			—			
四半期包括利益	—	—	1,738,561	—	—	—
新株の発行	5,734	5,734	—	—	△57	
自己株式の取得				△77,615		
剰余金の配当金			△1,523,778			
株式に基づく報酬取引					△62	
連結子会社株式の取得による持分の増減		19,638				
所有者との取引額等合計	5,734	25,372	△1,523,778	△77,615	△119	—
2020年3月31日残高	828,699	10,803,206	1,777,168	△2,079,079	37,719	—

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計	合計		
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計	合計		
2019年10月1日残高	△8,005	△3,633	26,200	11,187,920	△133,248	11,054,671
四半期利益			—	1,738,561	△804	1,737,757
その他の包括利益	9,076	△10,833	△1,756	△1,756	△575	△2,331
四半期包括利益	9,076	△10,833	△1,756	1,736,805	△1,379	1,735,425
新株の発行			△57	11,412		11,412
自己株式の取得			—	△77,615		△77,615
剰余金の配当金			—	△1,523,778		△1,523,778
株式に基づく報酬取引			△62	△62		△62
連結子会社株式の取得による持分の増減			—	19,638		19,638
所有者との取引額等合計	—	—	△119	△1,570,406	—	△1,570,406
2020年3月31日残高	1,070	△14,466	24,324	11,354,319	△134,628	11,219,690

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	新株予約権	確定給付制度の再測定
2020年10月1日残高	828,751	10,803,705	2,458,544	△2,437,646	51,171	—
四半期利益			789,559			
その他の包括利益			—			
四半期包括利益	—	—	789,559	—	—	—
新株の発行	2,028	2,931			△902	
自己株式の取得				△1,740		
剰余金の配当金			△1,516,212			
株式に基づく報酬取引					83,954	
新株予約権の失効		38			△38	
連結子会社株式の取得による持分の増減		△8,031				
所有者との取引額等合計	2,028	△5,060	△1,516,212	△1,740	83,012	—
2021年3月31日残高	830,779	10,798,644	1,731,891	△2,439,386	134,184	—

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計	合計		
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計	合計		
2020年10月1日残高	△666	△13,943	36,561	11,689,915	△128,674	11,561,241
四半期利益			—	789,559	△83,172	706,387
その他の包括利益	11,601	4,652	16,254	16,254	1,471	17,725
四半期包括利益	11,601	4,652	16,254	805,813	△81,700	724,112
新株の発行			△902	4,057		4,057
自己株式の取得			—	△1,740		△1,740
剰余金の配当金			—	△1,516,212		△1,516,212
株式に基づく報酬取引			83,954	83,954		83,954
新株予約権の失効			△38	—		—
連結子会社株式の取得による持分の増減			—	△8,031	7,031	△1,000
所有者との取引額等合計	—	—	83,012	△1,437,972	7,031	△1,430,940
2021年3月31日残高	10,934	△9,290	135,828	11,057,756	△203,342	10,854,413